藤原歌劇団 オペラ・ハイライト

ある晴れた日に
最愛の人を待ち続けて…

蝶々夫人

Madame Butterfly

CAST


小林厚子
〔蝶々夫人〕


所谷直生
〔ピンカートン〕


上江隼人
〔シャープレス〕


山川真奈
〔スズキ〕


瀧田亮子
〔ピアノ〕

2026
12.12 Sat

全席指定

開場／13時30分　開演／14時00分

中川文化センター 大ホール

チケット販売　10/20㊋～

大人　3,000円／高校生以下　2,000円
当日券は各500円増　未就学児の入場不可

チケット扱い

中 川 村／中川文化センター・ニルス（チャオ内）・中川村図書館
駒ヶ根市／ベルシャイン駒ヶ根店
飯 田 市／平安堂座光寺店
松 川 町／カフェシフォン

藤原歌劇団

CAST



小林厚子／Atsuko Kobayashi　〔蝶々夫人〕
ソプラノ／Soprano

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁派遣によりイタリアで研鑽。藤原歌劇団「蝶々夫人」題名役でデビューし、「イル・トロヴァトーレ」「トスカ」などに出演を重ねる。新国立劇場には「トスカ」で急遽代役を務め、21年は「ワルキューレ」「ドン・カルロ」25年「蝶々夫人」に抜擢され、また、NHKニューイヤーコンサート、c.ミョンフン指揮/東京フィル「オテロ」など多くのオーケストラとも共演。藤原歌劇団団員。東京藝術大学准教授。駒ヶ根市出身。



所谷直生／Naoki Tokorodani　〔ピンカートン〕
テノール／Tenor

国立音楽大学卒業。藤原歌劇団には、2004年「イル・カンピエッロ」のゾルゼートでデビュー後、「ラ・トラヴィアータ」、「蝶々夫人」、「ファルスタッフ」、「妖精ヴィッリ」など多数出演。日本オペラ協会には、04年「みづち」、「よさこい節」等出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。相模原弥栄高校非常勤講師。高知県出身。



上江隼人／Hayato Kamie　〔シャープレス〕
バリトン／Baritone

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。2005年に第34回（財）江副育英会オペラ奨学生として、2008年に明治安田クリオティブ財団の奨学生としてイタリアへ留学。2006年ディマーロの“Val di sole”イタリア音楽コンクール優勝。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。二期会会員。千葉県出身。



山川真奈／Mana Yamakawa　〔スズキ〕
メッゾ・ソプラノ／Mezzo Soprano

東京音楽大学大学院修了後、伊E.F.ダッラーバコ国立音楽院第二課程を修了。読売新聞社主催第78回新人演奏会に出演。2019年ゴルドーニ劇場「蝶々夫人」スズキでイタリアデビュー。「カルメン」タイトルロール、「アイーダ」アムネリスなど国内外のオペラに出演。「レクイエム」「第九」ソリストも務める。藤原歌劇団団員。埼玉県出身。



瀧田亮子／Ryoko Takita
ピアノ／Piano

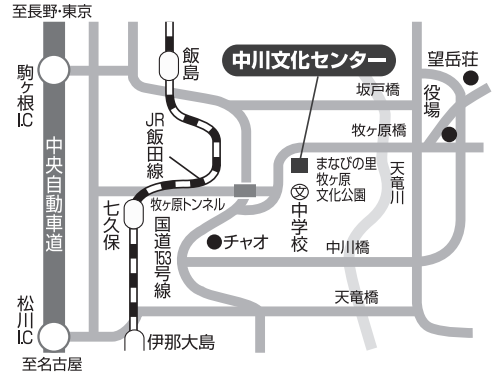
武蔵野音楽大学卒業。藤原歌劇団を始めとするオペラ公演、宗教曲やオーケストラ作品に携わる。共演ピアニストとしては、E•オブラスツォワのリサイタルを始め、多くの歌手とのコンサートやラジオ出演、CD録音に携わる。ステージの企画や制作、監修、アレンジ楽曲の提供も多数。藤原歌劇団団員。埼玉県出身。

プッチーニ「蝶々夫人」STORY

1980年代、長崎。
没落士族の娘である蝶々さんは、母親との生活を支えるために芸者をしていた。蝶々さんは結婚仲介人に紹介されたアメリカ海軍士官のピンカートンと結婚式を挙げる。しかし、ピンカートンは蝶々さんを長崎に駐留する間の現地妻としか考えていなかった。その軽率な行動にアメリカ領事シャープレスに忠告をうける。「次に駒鳥が巣を作るころには帰ってくる」と言い残し、ピンカートンが本国に帰って3年。蝶々さんはふたりの間に生まれた息子を、侍女スズキとともに育てながらひたすら彼の帰りを待っていた。
ある日、彼の乗った船が長崎の港に入る。彼の帰国を喜ぶ蝶々さんだが、彼はアメリカ人の本妻を伴っていた。子どもを預かるとの申し出に、彼が迎えに来るなら子どもを託すことを決めたが、彼が来る前に蝶々さんは・・・。

交通のご案内

松川 I.Cから車で15分
駒ヶ根 I.Cから車で25分



□主催／中川村教育委員会
□受託／公益財団法人日本オペラ振興会

□お問い合わせ／中川文化センター
〒399-3802 長野県上伊那郡中川村片桐4757 TEL.0265-88-1005 FAX.0265-88-4005